

1. 交付金事業の名称 原子力・エネルギー教育支援事業
2. 交付金事業の事業主体 栃木県
3. 交付金事業の実施場所 栃木県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・原子力・放射線の学習に関する教材の整備（足利南高校、今市高校、栃木工業高校、茂木高校、真岡工業高校）霧箱測定観察セットや放射線測定器等を整備し、原子力・放射線の学習に活用した。
- ・発電・エネルギーの学習に関する教材の整備（足利南高校、今市高校、栃木工業高校、茂木高校、真岡工業高校）火力発電実験模型や太陽光蓄電セット等を整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。

【市町村事業】（真岡市）

(2) 施設見学の実施

市内1つの中学校を対象に、サイエンス・スクエアつくば、つくばエキスポセンター等を見学し、発電・エネルギーの学習に活用した。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 4, 770, 827円

交付金充当額 4, 770, 827円

6. 交付金事業の成果及び評価

- ・当事業により原子力・エネルギーについて児童・生徒等の理解が促進されたと回答した割合【理解度】は、実験器具・実験材料の整備事業及び施設見学の実施事業で目標80%に対して実績100%だった。実験器具・実験材料の整備を実施したことにより、教科書だけでなく、実際に実験や観察を行う体験的な学習を行うことで、放射線や原子力を含むエネルギーに関する興味・関心が高まり、児童・生徒等の理解が促進されたと評価できる。
- ・原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は、実験器具・実験材料の整備事業及び施設見学の実施事業で目標80%に対して100%だった。原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として実験器具・実験材料の整備事業が促進されたと評価できる。